

みどりのゆび

諏訪中央病院グリーンボランティア通信 No.111号 2019年9月4日発行

ハーブとのお付き合い ―ハーブティーを担当して―

♪パセリ、セージ、ローズマリー&タイム〜♪、半世紀ほど前、好んで聴いていたサイモンとガーファンクルの”スカボロフェア”という曲のフレーズです。当時パセリしか私には馴染みがなく、他は野菜?程度でした。20年前住んだ家の庭に華やかな青色を楽しませてくれるセージがありました。葉を料理に使う事など思いもよらず、調味料を購入していました。ドイツ生まれのソーセージは肉に相性の良いセージを使っての名だそうです。

8年前に原村に移住し、縁あってグリーンボランティアに加わり、病院の庭には素敵な木々や草花と多くのハーブ類が植えられている事を知りました。これらの手入れの後、ミーティング、そして摘んだハーブのお茶と持ち寄り昼食を皆で楽しむのです。



8月の作業は時間も30分早められ、昼食は無し。この日はお庭で採れたきゅうりやトマトと収穫したばかりのラベンダーの香りをお茶うけにレモンバーベナとレモングラス、タイム、オレガノ、ミント、レモンバーム他のハーブティーを木陰で楽しみます。[成澤(美)]

えひめA1-2を作ってみました



7月17日(水)活動後、市川さんから作り方を教えてもらいました。えひめA1-2とは、微生物の力で処理を行い、水質向上、汚泥削減、消臭等の向上を図り、河川への負担を軽減するものです。

また、たい肥作りや土作りなどにも効果があります。



これからのイベント

- 10月19日(土) 病院祭への参加(午前、ハーブティーの振る舞い等)
- 10月23日(水) ハロウィンランタン作り
- 10月25日(金) ハロウィンパーティー(夕方からスープの振る舞い)
- 11月13日(水) リース作り
- 11月20日(水) 秋のバザー(10~12時)その後、ランチ

人と人との繋がり の場



10年前、諏訪中央病院で初期研修医をしていた頃、お昼休みにランチ会に参加させてもらっていました。日常が病院内という中で、ガーデンは数少ない僕と外界・自然とを繋げてくれるものでした。その後、沖縄、宮古島、神奈川、愛知と転々としてきましたが、10年後に再び、この場所に帰ってこれました。

海外を旅している時に、音楽がすごく生活の近くにあることに驚きました。様々な場所に音楽と人々の熱気がありました。今、三線やディジュリドゥ、イダキ等を演奏して、皆で音を楽しむ機会をいただき、とても嬉しく思っています。今後もこの素敵な緑の中で音を楽しむ時間を共有しましょう。[熊谷翔平]

諏訪中央病院の美しいお庭を見ると、ボランティアさんたちの深い愛情を感じます。ここで、毎週水曜日に手作りのお料理をいただけることに感謝しています。日本では職種や世代を越えた交流の場がなかなかないので、地域の皆さんと医療従事者の方々がより一層深く交流できる大切な場であると思います。

世代間の壁や言葉の壁も乗り越えて、大きな心の和を形成できるのが音楽の力です。一方通行の演奏会ではなく、皆さんと一緒に一期一会の素敵なハーモニーを楽しみたいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。[熊谷 千絵]

今年の春からランチのあと、熊谷先生ご夫妻による演奏会を行っています(不定期)。お二人よりご寄稿いただきました。

コラム No.8 なんて素敵なお庭！

東京から知人夫妻がやってきた。蓼科ファンのお二人にガイドを頼まれる。バラクラは昔からお馴染みだし、どこかいいところがないかと思案していたら急に思い出す。そうだ、身近にある病院の庭がいいかも！

—わあ、なんて素敵なお庭！香り、豊かな木陰、お洒落な小屋。まるで絵本のようなね！緩やかな起伏のウェーブラインもいい。静かにお庭が呼吸しているって感じ！お手入れも大変でしょうね— 足踏み入れたときの感動絶賛のことばでした。案内しながら小生の知識では花の名が悔しいが出てこない。小さな小屋も気に入ったみたいで、いつか同じ様なものが東京の自宅の庭にも発見するかも。

予想を遥かに超えた喜びよう。写真も多分一杯撮り続けていた。その時、庭には手ぶらでしたが、こんなに長いこと滞在するなら、お茶とお菓子でも用意しておけば、更に最高の時になったかもしれない。でも、まあ、これだけお気に入りなら、再び訪れてくれそうで、お茶はその時かな。意外な癒しの穴場にもなるかもしれない。

緩和ケアーにもかなり関心を持ったような様子でした。ガイドの手応えを覚えた良き日に感謝。[坂地]

